

令和 7 年度 第 2 回野洲市スポーツ推進審議会要録

会議名 令和 7 年度 第 2 回野洲市スポーツ推進審議会

開催日時 令和 7 年 9 月 26 日（金） 13:30~15:55

開催場所 野洲市役所 2 階 第 5 会議室

出席者 委員 会長：山本博一委員、副会長：松並典子委員

委員：駒井朔男委員、松崎剛和委員、間岩太郎委員、森地信晴委員、外田順一委員

市 市民部長、市民部次長（文化スポーツ担当）、文化スポーツ振興課長、文化スポーツ振興課担当

傍聴者 0 名

次第

1 開会

2 あいさつ

山本会長

3 議事

(1) 野洲市スポーツ推進計画の時点修正(案)について

資料 1 に基づき事務局より説明

●序章「野洲市スポーツ推進計画の策定方針」について

(主な意見等)

(委員)滋賀県スポーツ推進計画の基本方針・施策中、III. 感動を未来へつなぐというところの⑥項目目わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ等に向けた競技力向上と協議水準の定着について、現状を表現されてないのでないか。定着するというのは現状でもそういうことが言えるので、その定着という文言を取って、それ以降を継続するとか、思いをつなぐというような、そのようにしてはどうかと思う。今、定着ならもうそこまで、それで未来が盤石なのか。未来は何かの形でそれに定着することを図って、以降を継続するとかね、なにかそういう文言にしてもいいのではないかと思う。

(事務局)ご意見のところは、既に策定されている滋賀県の第 3 期スポーツ推進計画の基本方針・施策を掲載していますので、本市がこの内容を変えられるというものではありません。

(委員)目標とする指標の把握の中で「子どものスポーツ環境の充実」のところだが、滋賀県の小学 5 年生の女子は 47 都道府県で最下位だった。20 年近く調査が行われているが初めて最下位になった。このような中で、コメント欄でそのことに触れていないが、そのまま流してもいいものか。最下位だったということを記憶にと

どめておく必要があるのではないかという思いもあって、その辺のところをコメントの中に書き加える必要があるのではないか。やはり幼少の頃から体力向上の土台を築いていかないと駄目だとか、もっと運動の習慣化というものを図っていかないといけないとか、そのようなことをコメント欄に記載してはどうかと思う。

(事務局)ご指摘いただいた点につきましては、教育委員会と協議して修正させていただきます。

● 第1章「基本理念と基本方針」

意見等はなし

● 第2章「野洲市のスポーツの現状と課題」

(主な意見等)

(委員)学校体育・スポーツの現状と課題のところの中学校能の運動部活動に関する内容だが、現在の計画では「中学校の運動部の部活動の指導については、専門性の高い指導者不足が課題となっています。」というように具体的に書かれて課題が明確だが、修正案だと抽象的になっているような気がするがこれでいいのか。

(会長)この件については、現在、教育委員会によくコードィネーターが2人設置され、これからどうのような形で進めていくか、市内の中学校の現状等の情報も収集しながら協議していくところなので、まだ具体的に書くことは難しいと思う。このような書き方しかできないのではないか。なので、これはこのような方向で進めますということでいいのではないかと思う。

(事務局)会長がいわれるとおり7月にコーディネーター2人が教育委員会に配置され、様々な情報収集しながらどのような取り組みを進めていくかというところを検討されているところであります、まだ具体的なところまでは進んでいないということを担当課に確認しています。ご指摘のとおり現在の計画に比べると抽象的な書き方にはなっていますが、今後取り組みを進めていく必要があるということは明記させていただきました。

(委員)以前はラジオ体操が定着していて、夏休み期間もきちんと行われていたが、今は9割くらいが行っていない。学校も夏休みに実施することを推奨しておらず、子どももや地域に任せている。そうすると朝起きられないからやらない。2か月の生活習慣が乱れる夏休みにラジオ体操を行うことによって体力の維持とか生活規範ができるのに何故行わないのかと感じるので、幼児のところとか小学生のところにラジオ体操という文言が入らないかなと思った。

(会長)今は現状と課題のところなので、この後に出てくる施策の展開のところで検討すればどうかと思います。

● 第3章「基本的な施策」

(主な意見等)

(委員)スポーツ施設の整備と充実に関して、学校の体育館にエアコンを付けるという話を聞いているがどうなっているのか。

(事務局)ご指摘のように学校教育の中でも子どもたちの安全を守るという必要や学校

開放で使用いただいていることもありますし、今年も非常に災害が多く発生しましたが、災害が発生した際の避難所の役割も担っています。やはり避難された方の生活の懸念がありますので、少しでも快適な環境で生活を送っていただくことも重要ありますので、そういう観点から、学校の体育館へのエアコン整備は考えているところです。ただ、国の補助金を活用して整備することになりますので、補助金の対応も考えながら整備をしていく方向です。

(委員)3のスポーツを楽しむ地域づくりの中で、総合型地域スポーツクラブに関する記述があるが、確かに年数でいうと20年を過ぎているが設立した初期と比べる課題や総合型地域スポーツクラブが担う役割というものが変わってきた、先ほど話題になった運動部活動の地域展開、地域連携でも役割を担うことになります。「育成」を削除するということで、それには異議はない。ただ、障がい者スポーツの取り組みは全国的にも進んでいる方であり、介護予防や中学校運動部活動の地域展開についてはクラブの登録認証制度の項目にもあるので、新しい課題に向けてどう取り組んでいくかという中で、「育成」に変わる何か文言が入ればと思うが、適當な言葉が思いつかない。

(会長)総合型地域スポーツクラブの位置づけがどんどん変わってきてている。クラブが持っている機能や活動内容で、いいフレーズがあればまた提案してください。

(委員)はい、わかりました。

● 第4章「施策の展開（指標）」

(主な意見等)

(委員)2の子どものスポーツ環境の充実の目標値だが、令和7年の目標を維持するのであれば男子は54、女子は55ではないか。

(事務局)数値を誤っていました。ご指摘のとおり訂正させていただきます。

(委員)総合型地域スポーツクラブの会員数だが、説明にもあったようにコロナ禍などで会員数が伸び悩んでいる状況であり1,800人という目標は厳しいかなと感じている。

(会長)別に現状に合わせなくても目標は目標として設定していいのではないですか。

(事務局)今後、中学校運動部活動の地域展開等において重要な役割を担われることもありますので、目標値の維持ということにしました。

● 第4章「施策の展開」

● 1. 市民総スポーツの推進

(主な意見等)

(委員)ここに該当するのかわからないが、市内に唯一ある野洲高校だが少子化が進み高校が統廃合されるようなことになるとその候補になるかもわからない。以前、サッカーが強かったときは生徒数も多かった。残るために、小学生のサッカー指導など地域と結びついた活動を行うなどの取り組みが必要ではないか。そういう取り組みをしていることが高校の強みになる。自治会の役員をしていた時

に、地域の子どもたちにサッカーを教えてもらったことがあるが、子どもたちは大変喜んでいた。そういうことも含めて検討をすればいいのではないか。

(事務局)野洲高校のサッカーの取り組みについては、地域も含めて活動をするようなことを検討されようとしているようです。まだ具体的なところまでは行っていないようですが。地域の子どもたちに対して自治会が活動されることは大変ありがたいです。そのような動きが広がっていくと他のスポーツ振興も図っていけるのではないかと思うので、是非、今後も続けていただきたいと思います。

(委員)障がい者のスポーツ活動の支援の記述の中に総合型地域スポーツクラブの名前をどこかに入れられたらと思うのだが。あと障がい者とリハビリの関係もいずれスポーツの分野になるのではないかと思う。ボッチャの大会もやっているので実績として書き加えられないか。

(事務局)「なかよし交流館をはじめ、総合型地域スポーツクラブ等と連携し」との記述がありますし、まだ調整中の内容などは次期計画を策定する中でその状況に応じて反映できればと思いますので、このままとさせていただきます。

● 2. 子どものスポーツ環境の充実

(主な意見等)

(委員)ここに「総合型地域スポーツクラブ」という文言がないが両クラブとも幼稚園に運動指導に行っている。可能であればそのような実績も入れていただきたい。

(委員)学校にも協力している。運動部活動のところにも総合型地域スポーツクラブの関与について書いていただければと思う。

(事務局)総合型地域スポーツクラブやスポーツ協会、スポーツ推進委員協議会等スポーツ関係団体にかかわりをいただいていることを何らかの形で記載するよう検討します。

(委員)幼児期については「運動遊びを通じて運動好きを増やし体力向上につなげる」などというような文言にした方がいいのではないか。ただ、本当は運動遊びだけで運動好きを増やしたり体力向上に繋がらないのではないかとも感じるが。

(事務局)ご指摘のとおり体力向上までは繋がらないかもわからないが、「運動好きな子を増やす」というのは大事なフレーズではないかと思うので、その言葉を入れるよう検討してみます。

(委員)説明にあったようにスポーツ少年団にはリーダーがいる。スポーツ少年団活動では、団員たちが競技スポーツをやるだけではなく、自分たちがやってきたことを育てる側に言ってもらえるように、そういうリーダーを育てていくことが大事だと考えている。ただ、すべての単位団でリーダーを育てる活動ができるわけではないので、そのあたりは課題だと受け止めている。

(委員)中学生を対象としたバレーボールのクラブチームが2つ活動している。中体連にもクラブチームとして登録して参加しているが、まだまだ手探りで活動している状況。今後、中学校の運動部活動の地域展開の取り組みにも関わっていくことになるのかなと思う。

● 3. スポーツを楽しむ地域づくり

(主な意見等)

(委員)総合型地域スポーツクラブについては、先ほどから障がい者や高齢者、幼児期、中学校の運動部活動など様々な関りを話したが、2行目の「特色ある活動」のところで何かそのような具体的な活動が入れられたら入れてほしい。個別のところで総合型地域スポーツクラブの関りが示されればこのままでもいいが。

● 4. スポーツ施設の整備と充実

意見等はなし

● 5. スポーツ交流・支えるスポーツ促進と情報の発信

意見等はなし

● むすび

意見等はなし

4 その他

第3回野洲市スポーツ審議会の案内

日 時 令和7年10月29日(水) 13時30分

会 場 野洲市役所 本館 2階 第5会議室

5 閉会